



# 学校だより

「体をきたえる子」・「思いやりのある子」・「最後までやり抜く子」・「進んで学習する子」

令和6年12月2日

江戸川区立清新第一小学校

江戸川区清新町1-4-19

校長 石橋 悟

NO.8

## ～学習発表会での体験や経験を生かす12月に～

校長 石橋 悟

今日から12月がスタートしました。4月からここまで、子供たちは学校生活で得た体験や経験を生かし、成長した姿を見せてくれています。11月は学習発表会でその姿を見せてくれました。令和に入ってスタートした学習発表会は、令和2年度はコロナ禍で実施できませんでしたが、今回で5回目になります。6年生は入学した年から学習発表会を経験しています。6年生の舞台発表を観ていると、過去5年間の体験や経験で得たことが、しっかりと子供たちの中で定着しイメージとして残っているのを感じました。5年生の学年展示も同じです。歴代の5・6年生が創ってできた展示や舞台発表を観てきた中で、一人一人自分たちが最高学年になった姿をイメージすることができていました。6年生は2年生から4年生の途中まで、吹く楽器や歌を経験できず、みんなで取り組む合奏や合唱も体験していません。それなのにあんなに素晴らしい発表ができたことは、一人一人の思いがあったと思います。最後は一つになって「チーム6年生」で協力できたからです。現1年生・3年生・5年生は今年の舞台発表を観て、来年度のイメージができたはず。来年度も素晴らしい学習発表会が期待できます。行事で得た体験や経験は、行事だけでなく、本来学校生活に生きてこなければいけません。12月は今年のみとめとして、学習発表会での体験や経験が生かされた学校生活を目指していきます。

### ◎一人一人の個性と思いが感じられた展示発表

展示発表は今年度も一人一人の個性が作品に表現されていると同時に、作品作りに対する思いが強く感じられました。1年生・3年生・5年生の一人一人の作品は、時間がたつのを忘れてしまうほど、工夫されたユニークな作品でした。5年生の学年展示は、毎年その時の学年の個性が出ていて、今年はどんな展示を魅せてくれるかと楽しみでした。今年の5年生のテーマである「百花繚乱」をイメージした学年展示は、昨年とは全く違う展示でしたが、今年も美術館の様な華やかな雰囲気を創ってくれました。

### ◎それぞれの学年が素晴らしかった舞台発表

舞台発表は今年も各学年工夫を凝らした内容で、15分という時間があっという間に終わったという印象でした。2年生は元気いっぱい初めての舞台発表に挑む新鮮な雰囲気で溢れていました。4年生は2年生の時の経験の上に、今回は英語劇に挑戦し、見事に英語で演じていました。劇から合奏への転換も素晴らしかったです。最後の6年生の演奏は圧巻でした。約200名による大編成のリコーダー奏、合唱、合奏ですが、人数の多さだけでなく、音と声一つにまとまり、体育館に心地よく響いていました。また、そこに一人一人の思いが入り、聴いている人の心を動かす演奏でした。泣いている保護者の方もいましたが、演奏の素晴らしさと、6年生の成長した姿をみれば自然な光景でした。私も同じ気持ちです。良い思い出の一つになりました。



5年生の学年展示を觀賞する子供たち



6年生の演奏は観客に感動を与えました